
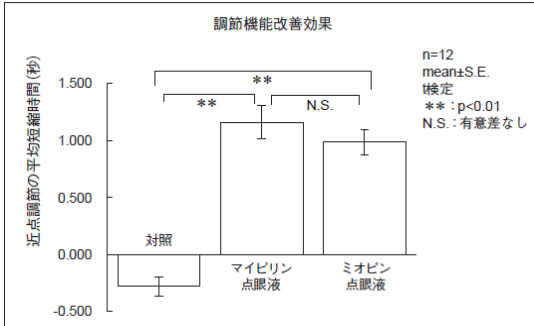


製品別比較表

2024年4月改訂

	後発品	標準品	
商品名	マイピリン点眼液		
会社名	ロートニッテン株式会社		
規格	1mL中にネオスチグミンメチル硫酸塩を0.05mg、塩化カルシウム水和物を0.3mg、塩化ナトリウムを6.5mg、炭酸水素ナトリウムを0.03mg、L-アスパラギン酸カリウムを3.5mg含有		
薬効分類	調節機能改善点眼剤		
薬価	86.40円/5mL1瓶	86.40円/5mL1瓶	
薬価差	0.00円(5mL1瓶)		
1瓶薬価差	0.00円(5mL1瓶)		
効能・効果	調節機能の改善	【標準品と同じ】	
用法・用量	通常、1回2～3滴を1日4回点眼する。 なお、症状により適宜増減する。	【標準品と同じ】	
添加剤	ベンザルコニウム塩化物、ポリビニルアルコール(部分けん化物)、pH調節剤	ベンザルコニウム塩化物、ポリビニルアルコール(部分けん化物)、pH調節剤	
規制区分 貯法	規制区分なし 室温保存	規制区分なし 室温保存	
製品の 性状	商品名	性状	剤形写真
	マイピリン点眼液	性状:無色澄明、無菌水性点眼剤 pH:5.0～6.0 浸透圧比:0.8～1.0	
	標準品	性状:無色澄明、無菌水性点眼剤 pH:5.2～6.2 浸透圧比:0.9～1.1	
安定性 *後発品	加速試験(40℃、75%RH、6ヵ月、最終包装製品): いずれの項目(性状、pH、浸透圧比、含量)も規格内		
生物学的 同等性	<p>【調節機能改善効果】 マイピリン点眼液とミオピン点眼液について、健常人(成人男女計6名)を対象として近見負荷作業後の調節機能を評価した結果、両剤の近点調節の短縮時間に有意差は認められず、生物学的に同等であると考えられた。</p> 		
連絡先			